

# ひろば

広場



## これが何で「行政改革」ですか？

杉本 敏宏

8月6日付上越タイムスの1面トップ記事『「ヒロシマ」肌で感じて』について、広島市で行われる平和祈念式典への中学生派遣事

業は、上越市が誇るベキ平和教育の一つだと思えます。その平和式典への中学生派遣が今年もまた行われるのだなあと、

記事を読んでいって「アレッ、何で今年は8人なんだ。」と思いました。最後まで読み進んで、その意味が分かりました。

「式典への中学生派遣は1996年から続く。市は行政改革の一環で、今年からこれまでの各校1人ずつの出席を見直し、8人ずつ、各校3年に1度とした。」とありました。

行政改革の一環で、各校1人ずつの出席を見直し、8人ずつにし

た、というのです。派遣人数を8人に減らすことが、何で「行政改革」なんだろうか。率直な疑問です。

行政改革って、行政を改革することですよね。単純に考えれば、行政の何かが改革されていないければなりません。平和式典への派遣人数を8人に減らして、どういう行政がどのように改革されたのか。記事からは分かりません。

昨今、上越市の行政を見ていますと、「行

政改革」という名目で、市民活動へのさまざまな補助金が減額されたり、廃止されたりしています。私は

常々、このことに疑問を抱いてきました。「補助金などの削減は、行政改革とはちょっと違うのではな

いか」と。平和式典への派遣人数を8人に減らして、どういう行政がどのように改革されたのか。

この際、ぜひ明らかにしていただきたいと思えます。（上越市東本町5）